

小山田緑地の植物

夏～初秋

Plants of Oyamada park

Summer

樹木編

小山田緑地には、約45ha(東京ドーム9.5個分)ほどの面積に759種※1もの多種多様な植物※2が生育しています。絶滅の危機に瀕している植物や、現在と異なる気候の時代から残っている植物もあり、貴重な自然が残された小山田緑地は多摩丘陵におけるサンクチュアリでもあります。

※1:2018.2.28時点 ※2:維管束植物(シダ、種子植物)以上



クiri

6月：本園や梅木窪、大久保に多い。葉の脇からブラシ状の花序を出しているのは雄花で、雌花は基部。



イボタノキ

5～6月：全園でみられる。葉は対生で、開花数は年により変動が大きい。



コアジサイ

5～6月：本園や梅木窪でみられる。枝先に散房花序を出し、白色～淡青色の花を咲かせる。



アワブキ

6～7月：本園、梅木窪などでみられる。枝の先に円錐花序を出し小さな淡黄白色花を多数つける。



クマノミズキ

6～7月：本園、梅木窪、山中で見られる。葉は対生。枝先に葉より高く散房花序を出し小さな黄白色の花を密につける。



ナツツバキ

6～7月：本園第二駐車場などに植栽されている。葉の付け根に白い大きな花をつける。



ネムノキ

6～7月：全園でみられる。葉は夜になると閉じて垂れ下がり、眠っているようにみえる。



トウネズミモチ

6～7月：本園、梅木窪等でみられる。葉をかざすと脈が透けて見えるのが特徴。枝先に円錐形の花序を出し、白い小さな花を多数つける。



ムラサキシキブ

6～8月：全園でみられる。葉の付け根に上向きに淡紅紫色の花を咲かせる。



ヤブムラサキ

6～8月：本園や梅木窪、山中でみられる。葉などには星状毛が多い。葉の脇から下向きに紅紫色の花をつける。



リョウブ

6～8月：梅木窪、山中でみられる。枝先から総状花序を出し、白い花を多数つける。



ヤマハギ

6～9月：本園や大久保でみられるハギ仲間。葉の脇から長い花序を出し紅紫色の花をつける。花序は基部につく葉より長い。



クサギ

7～9月：本園や梅木窪、山中でみられる。枝先に紅紫色花筒から白い花弁の花を咲かせる。芳香がある。



タマアジサイ

7～9月：本園南口園路でみられるアジサイの仲間。開花前の花序が総苞に包まれて球形をしているのが名の由来。



ヌルデ

8～9月：全園でみられる。葉は葉軸に翼があるのが特徴。白色の小さな花を円錐状につける。ウルシの仲間